

平成28年12月20日
 阪神高速道路株式会社

第12期(平成29年3月期)中間決算の概要

1. 連結決算の概要

(単位:億円、単位未満切捨て)

項目	平成29年 3月期 中間期(A)	平成28年 3月期 中間期(B)	増減		平成29年 3月期 通期見通し	平成28年 3月期 通期実績
			金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)		
営業収益						
高速道路事業	909	954	▲ 44	▲ 4.7%	2,686	2,441
料金収入等	872	867	4	0.5%	1,737	1,729
道路資産完成高	37	86	▲ 49	▲ 56.7%	949	711
関連事業	66	43	23	54.3%	135	128
受託事業	30	23	7	32.1%	67	76
その他の事業(注)1	36	20	16	79.6%	68	51
セグメント間取引消去	▲ 1	▲ 0	▲ 0	-	-	▲ 1
	975	997	▲ 21	▲ 2.2%	2,822	2,568
営業費用						
高速道路事業	878	924	▲ 46	▲ 5.0%	2,681	2,419
道路資産賃借料	653	648	4	0.7%	1,302	1,297
道路資産完成原価	37	86	▲ 48	▲ 56.2%	949	710
管理費用	186	189	▲ 2	▲ 1.4%	428	411
関連事業	61	40	21	52.7%	127	120
受託事業	30	23	7	31.4%	67	76
その他の事業(注)1	31	17	13	81.6%	59	43
セグメント間取引消去	▲ 1	▲ 0	▲ 0	-	-	▲ 1
	938	964	▲ 25	▲ 2.7%	2,808	2,538
営業利益						
高速道路事業	31	30	1	4.7%	5	22
関連事業	5	2	2	78.4%	8	8
	36	32	3	11.0%	14	30
経常利益	37	34	2	8.8%	15	33
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	31	29	2	8.8%	9	24

(注) 1 関連事業の「その他の事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業、発生土再生活用事業等を含んでおります。

 2 平成29年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。
 実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

2. 料金収入及び通行台数実績

項目	平成29年3月期 中間期	平成28年3月期 中間期	増減率
料金収入(億円)	869	864	0.5%
一日当たり通行台数(全体)(千台/日)	753	746	0.9%
一日当たり通行台数(普通車)(千台/日)	687	681	0.8%
一日当たり通行台数(大型車)(千台/日)	66	65	1.9%

3. 事業の状況

(1) 高速道路事業

【平成29年3月期中間期の業績】

- 阪神高速道路の一日当たり平均通行台数は、75.3万台(前年同期比0.9%増)と増加傾向となり、料金収入は869億円(同4億円増)となりました。
- 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する道路資産賃借料は、653億円(前年同期比4億円増)となりました。
- 道路資産完成高は、営業中路線の修繕工事等の完成により37億円(前年同期比49億円減)となりました。
- この結果、高速道路事業の営業利益は31億円(前年同期比1億円増)となりました。

(主なトピックス)

- 平成28年4月、2030年を目標とする新たなビジョンである「阪神高速グループビジョン2030」を策定、お客さまに最高の安全と安心を提供することを目指し、大規模修繕事業に取り組むとともに、大規模更新事業の具体的検討を行う一方、企画割引「阪神高速ETC乗り放題パス」を販売するなど、お客さまサービスに努めました。
- ミッシングリンクの解消に向け、淀川左岸線(海老江JCT～豊崎)や大和川線(三宝JCT～三宅西)の整備を推進するとともに、西船場JCT(信濃橋渡り線(仮称))の整備促進に努めました。

【平成29年3月期通期の見通し】

- 料金収入は、中間期と同様に通行台数が増加傾向にあることから、1,732億円(前年同期比9億円増)となる見込みです。
- 一方、管理費用は、道路の点検・補修費等の増加を見込んでいるため、428億円(前年同期比16億円増)となる見込みです。
- 道路資産完成高は、大和川線(三宝ジャンクション～鉄砲西(仮称))の完成等により949億円(前年同期比237億円増)となる見込みです。
- この結果、高速道路事業の営業利益は5億円(前年同期比16億円減)となる見込みです。

(2)関連事業

【平成29年3月期中間期の業績】

- 受託事業は、大和川線の工事受託等により、営業収益は30億円(前年同期比7億円増)、営業費用は30億円(同7億円増)となり、営業損失は16百万円(前年同期は営業損失25百万円)となりました。
- その他の事業は、休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業、発生土再生活用事業等を展開したことにより、営業収益は36億円(前年同期比16億円増)、営業費用は31億円(前年同期比13億円増)、営業利益は5億円(前年同期比2億円増)となりました。

(主なトピックス)

- 平成28年7月、会員制駐輪場である「ヴェロスタ肥後橋店」を開業し、新たにサイクルプロジェクトの事業化を図りました。

【平成29年3月期通期の見通し】

- 関連事業の営業収益は135億円(前年同期比7億円増)、営業費用は127億円(同6億円増)、営業利益は8億円(同72百万円増)となる見込みです。

(参考)平成29年3月期中間期の個別業績について

(単位:億円、単位未満切捨て)

項目	平成29年 3月期 中間期(A)	平成28年 3月期 中間期(B)	増減		平成29年 3月期 通期見通し	平成28年 3月期 通期実績	
			金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)			
営業収益	高速道路事業	906	951	▲ 45	▲ 4.7%	2,682	2,435
	料金収入等	869	864	4	0.5%	1,733	1,723
	道路資産完成高	37	86	▲ 49	▲ 56.7%	949	711
	関連事業	39	31	7	25.2%	90	95
	受託事業	30	23	7	32.1%	67	76
	その他の事業	8	8	0	5.9%	23	19
	946	983	▲ 37	▲ 3.8%	2,773	2,531	
営業費用	高速道路事業	876	922	▲ 45	▲ 5.0%	2,684	2,425
	道路資産賃借料	653	648	4	0.7%	1,302	1,297
	道路資産完成原価	37	86	▲ 48	▲ 56.2%	949	710
	管理費用	184	187	▲ 2	▲ 1.2%	432	417
	関連事業	36	29	7	24.5%	86	90
	受託事業	30	23	7	31.4%	67	76
その他の事業	5	5	▲ 0	▲ 2.9%	19	14	
	912	951	▲ 38	▲ 4.1%	2,771	2,516	
営業利益	高速道路事業	30	29	0	2.4%	▲ 1	10
	関連事業	2	2	0	33.6%	4	5
	33	32	1	4.6%	2	15	
経常利益	35	34	1	4.6%	5	18	
中間(当期)純利益	31	29	1	6.6%	4	16	

(注) 平成29年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。